

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	大平 英樹	所属	名古屋大学大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会		
成果概要	<p>1)参加人数(会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください) 会員 82 名(うち認定心理士 1 名) 非会員 24 名(うち認定心理士 名)</p> <p>2)集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>【共同研究企画】</p> <p>①目的 本企画は、研究会を共同研究提案の場として活用することを目的とした新しい取り組みである。検体収集や生化学的測定の手配、データセットの共有をすることで研究会活動および国内における精神神経内分泌免疫学研究の活性化を図る。</p> <p>②成果 現在 2 件の共同研究が進行中である。さらに研究会ホームページにも募集・成果などを逐次掲載し、研究会会員や隣接領域の研究者に向けた情報発信に努めた。</p> <p>③将来構想 まだ研究数が少ないのが現状である。今後も引き続き研究集会やホームページ等で共同研究者を募り、ワーキンググループでの活動を行っていく。</p> <p>【研究集会】</p> <p>①目的 精神神経内分泌免疫学に関する最新の知見の共有、研究者間の交流を目的とし、共同研究の促進を図る。また、若手研究者に研究発表の機会を与えることで研究者の育成に努める。</p> <p>②成果(添付資料参照) <u>第 26 回研究集会</u> 令和元年 5 月 29 日に第 26 回研究集会を国際医療福祉大学(東京赤坂キャンパス)にて開催した。小笠原先生から「運動誘発性身体的ストレスが起床時コルチゾール反応に及ぼす影響に関する検討」、津村先生から「インターネット依存における心理的・生理的ストレス反応」など 3 題の研究発表が行われた。さらに、東北大学で行われているバイオバンクの紹介が行われた。 <u>唾液中バイオマーカーに関するワークショップ</u> 令和元年 6 月 22 日に国際医療福祉大学(東京赤坂キャンパス)にて、初学者を対象としたバイオマーカーに関するワークショップを開催した。 <u>日本心理学会シンポジウム</u> 日本心理学会にて、令和元年年 9 月 12 日に身体内部状態のフィードバックに関するシンポジウムを行った。コルチゾールをはじめとした身体内部からの感覚情報が認知機能に与える影響について発表・議論が行われた。</p> <p>③将来計画 今後は第 27 回研究集会および日本心理学会でのシンポジウムを企画することで、さらなる情報、研究手法・技術の共有化、研究者間の連携を強めることを目指す。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
精神神経内分泌免疫学研究会				
研究集会開催日： 2019年 5月 29日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	宮崎隆穂	新潟青陵大学短期大学部	○	
2	福田早苗	関西福祉科学大学	○	
3	三輪恵介	名古屋大学	○	
4	前田駿太	東北大学	○	
5	小笠原佑衣	大阪体育大学	×	
6	笠原恵美子	大阪大学	×	
7	木村健太	産業総合技術研究所	○	
8	川崎幹子	国際医療福祉大学	×	
9	今村千絵	トヨタ自動車	×	
10	菊永一輝	京都大学	×	
11	柴崎貴通	国際医療福祉大学	×	
12	津村秀樹	徳島大学	○	
13	大平秀樹	名古屋大学	○	
14	徳永麻子	一橋大学	×	
15	小崎智照	福岡女子大学	×	
16	小川奈美子	早稲田大学	○	
17	加藤沙智子	LSIメディアエンス	×	
18	橋本勉	同	×	
19	出野美那子	東京大学	×	
20	井澤修平	労働安全衛生総合研究所	○	
21	山川香織	東海学園大学	○	
22	永岑光恵	東京工業大学	○	
23				
24				
25				

(様式5)

2020年 3月 22日

日本心理学会研究会 2019 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会

研究会番号 研19009

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2019年5月29日	第26回研究集会 会場費	¥30,000

支出合計 ¥30,000